

えびの

市議会だより

2019
第121号

令和元年7月20日

Ebino City Assembly Report 2019/7/20 Vol.121



9月定例会は
9月2日
開会予定

令和元年5月臨時会 議案等審議結果表

1. 議案等

会期：令和元年5月15日～16日（2日間）

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
報告第 3号	専決処分した損害賠償の額の決定について	—	—
報告第 4号	専決処分したえびの市税条例等の一部を改正する条例の承認について	総 務 教 育	原案承認
報告第 5号	専決処分したえびの市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の承認について	産 業 厚 生	原案承認 (12:2)
報告第 6号	専決処分した平成30年度えびの市一般会計予算の補正(第12号)の承認について	平成30年度予算審査特別委員会	原案承認
報告第 7号	専決処分した平成31年度えびの市一般会計予算の補正(第2号)の承認について	令和元年度予算審査特別委員会	原案承認
議案第37号	えびの市課設置条例の一部改正について	総 務 教 育	原案可決 (10:4)
議案第38号	令和元年度えびの市産業団地整備事業特別会計予算の補正(第1号)について	産 業 厚 生	原案可決 (9:5)

2. 委員会提出議案

番 号	件 名	提案者	審議結果
委員会提出議案第4号	えびの市議会委員会条例の一部改正について	議会運営委員会 西原 政文	原案可決

令和元年
5月臨時会

令和元年5月臨時会を5月15日から5月16日の2日間開催し、報告5件、議案2件を審議しました。

報告関係

第7号 報告

専決処分した平成31年度えびの市一般会計の補正(第2号)の承認について

歳入歳出それぞれ8億6,577千円を追加し、補正後の予算総額は歳入歳出それぞれ12億9,987万2千円となります。

〔主なもの〕

・足湯の駅えびの高原及びりんどうの維持管理費

8億6,577千円

特別会計予算

第38号 議案

令和元年度えびの市産業団地整備事業特別会計予算の補正(第1号)について

歳入歳出それぞれ9億1,140万円を追加し、補正後の予算総額は歳入歳出それぞれ9億1,985万1千円となります。

〔主なもの〕

・産業団地整備事業費

9億1,190万円

・公債費

50万円

条例の議案

第37号 議案

えびの市課設置条例の一部改正について

産業団地整備事業及び企業立地活動の推進を図ることから、新たに「企業立地課」を設置するためのものであります。

令和元年6月定例会 議案等審議結果表

1. 議案等

会期：令和元年6月6日～6月24日（19日間）

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
報告第 8号	平成30年度えびの市一般会計繰越明許費繰越計算書について	—	—
報告第 9号	平成30年度えびの市一般会計事故繰越し繰越計算書について	—	—
議案第39号	固定資産評価員の選任について	—	同 意
議案第40号	えびの市森林環境譲与税基金条例の制定について	産 業 厚 生	原案可決
議案第41号	えびの市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	総 務 教 育	原案可決
議案第42号	えびの市使用料及び手数料条例の一部改正について	産 業 厚 生	原案可決
議案第43号	えびの市介護保険条例の一部改正について	産 業 厚 生	原案可決
議案第44号	えびの市文化センター条例の一部改正について	総 務 教 育	原案可決
議案第45号	えびの市立病院使用料及び手数料徴収条例の一部改正について	総 務 教 育	原案可決
議案第46号	消費税及び地方消費税の税率引上げに伴う関係条例の整備について	予 算 等 審 査 会 特 別 委 員 会	原案可決 (12:2)
議案第47号	令和元年度えびの市一般会計予算の補正(第3号)について	予 算 等 審 査 会 特 別 委 員 会	原案可決
議案第48号	令和元年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第1号)について	産 業 厚 生	原案可決
議案第49号	令和元年度えびの市介護保険特別会計予算の補正(第1号)について	産 業 厚 生	原案可決
議案第50号	令和元年度えびの市病院事業会計予算の補正(第1号)について	総 務 教 育	原案可決
議案第51号	教育委員会教育長の任命について	—	同 意
議案第52号	財産の取得について	—	原案可決 (11:3)
議案第53号	工事請負契約の締結について	—	原案可決 (11:3)
議案第54号	工事請負契約の締結について	—	原案可決 (11:3)
議案第55号	工事請負契約の締結について	—	原案可決 (11:3)
議案第56号	工事請負契約の締結について	—	原案可決 (11:3)

2. 陳情

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
陳情第 7号	グリーンツーリズム体験イベント企画運営事業について地方自治法に基づく百条委員会の設置を要望する陳情書	産 業 厚 生	継続審査

3. 議員提出議案等

番 号	件 名	提案者	審議結果
議員提出 意見書 第 2 号	主要農作物種子法復活を求める意見書(案)	田口 正英	原案可決

4. 委員会提出議案等

番 号	件 名	提案者	審議結果
委員会提出 意見書 第 3 号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書(案)	議会運営委員会 西原 政文	原案可決

令和元年 6月定例会に 提出された議案

令和元年6月定例会は6月6日から6月24日までの19日間開催し、報告2件、議案18件、陳情1件、議員提出意見書1件、委員会提出意見書1件を審議しました。主な議案等を報告します。(審議結果の詳細はP. 3を参照ください。)

条例の議案

議案 第40号

**えびの市森林環境譲与税基金
条例の制定について**

森林環境税および森林環境譲与税に関する法律の規定に基づき、使途事業を確実に施行する経費の財源を確保する基金を設置するため制定するものです。

議案 第42号

えびの市使用料及び手数料条例の一部改正について

事業系一般廃棄物の処理手数料について、容器包装に係る分別収集及び再商品化に関する法律により、プラスチック製容器包装の処理区分を追加し、リサイクルの層の推進を図るため改正するもの

議案 第44号

えびの市文化センター条例の一部改正について

ホール関係備品等使用料や視聴覚音楽室等備品使用料、視聴覚音楽室の備品の整理を行うため改正するものです。

議案 第46号

消費税及び地方消費税の引き上げに伴う関係条例の整備について

令和元年10月1日から消費税及び地方消費税の税率が引き上げられることに伴い、関係する13件の条例の一部を改正するものです。(詳細はP. 6を参照ください。)

予算の関係

議案 第47号

令和元年えびの市一般会計予算の補正(第3号)について

歳入歳出2億8,041万2千円追加し、補正後の予算総額は132億7,915万4千円となります。(詳細はP. 6を参照ください。)

です。(詳細はP. 5、6を参照ください。)

議案 第50号

令和元年度えびの市病院事業会計予算の補正(第1号)について

資本的収入を128万円増額し、補正後は1,505万1千円。資本的支出を256万円増額し、補正後は2,915万7千円となります。(詳細はP. 5を参照ください。)

議案 第52号

財産の取得について

新たな企業立地による雇用の確保を目的とした産業団地の整備に必要な土地を取得するものです。

取得する土地面積
148,064.46㎡
取得価格
4億5,720万2,324円

陳情関係

陳情 第7号

グリーンツーリズム体験イベント企画運営事業について地方自治法に基づく百条委員会の設置を要望する陳情書

議員提出 議案

主要農作物種子法復活を求める意見書(案)

委員会 提出議案

新たな過疎対策法の制定に関する意見書(案)

人事案件

議案 第51号

教育委員会教育長の任命について

任期満了に伴い新任された。

教育委員会教育長
永山 新一 氏

議案 第39号

固定資産評価員の選任について

人事異動に伴い新任された。

固定資産評価員
川野 利光 氏

総務教育常任委員会報告

5月臨時会にて付託された議案1件・報告1件の審査を行いました。審査の結果、全て原案のとおり可決及び承認すべきものと決しました。6月定例会にて、付託された議案4件の審査を行いました。審査の結果、全て原案のとおり可決すべきものと決しました。以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

①議案第50号 令和元年度えびの市病院事業会計予算の補正（第1号）について

問 リハビリ棟の雨漏り対策に伴う改修工事の期間は。

答 予算可決後早急に取り掛かり、台風が襲来する時期までには改修工事が間に合うようにしたい。

問 今回の雨漏り対策改修工事費用として256万円計上されているが、もう少し早い時期に改修しておけば、この金額よりも低額で改修出来たのではないか。また、工事の時期も梅雨時期は難しいのではないのか。そのようなこと等も考えて、先を見据えての計画が必要だったのでは。

答 リハビリ棟の雨漏りについてはこれまで何度となくあり、そのたびに修繕を行ってきた。ただ、建物が道路に面していることで、どうしても揺れが生じてタイルに劣化が生じるので、その亀裂

産業厚生常任委員会報告

5月臨時会で付託されたものは、報告第5号、議案第38号、報告1件、議案1件です。審査結果については、報告第5号は反対の討論、議案第38号は反対賛成の討論があり、挙手による採決の結果、報告第5号については賛成多数により原案のとおり承認すべきもの、議案第38号については、賛成少数により否決すべきものと決しました。6月定例会で付託されたのは、議案5件、陳情1件であります。審査結果は討論はなく採決の結果、いずれも全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

①報告第5号 専決処分したえびの市国民健康保険条例の一部を改正する条例の承認について

問 今回の改正は、国民健康保険税の限度額の引き上げの条例改正だが、どのようなものなのか。

答 国の法令改正に伴うものであり、改正する必要がある。

②議案第38号 令和元年度えびの市産業団地整備事業特別会計予算の補正（第1号）について

問 継続費の事業総額は、10億5,342万9千円であり、令和元年に4億747万1千、令和2年に6億4,595万8千円との記載があるが、事業総額を一括して借り入れるのか、年度ごとに借り入れるのか。

答 その年度に必要な金額を借り入れる予定であるため、2年に分けて借り入れる予定である。

③議案第41号 えびの市使用料及び手数料条例の一部改正について

新たな処理区分として、プラスチック製容器包装の処理を設け、燃やせるごみの処理と明確に区分することで、分別の基本を理解いただき、事業系ごみについても、再生プラスチックのリサイクルの推進を図るため改正するものです。

問 建築現場などで、コンテナを置いて捨てるゴミは全部一緒にしてあるが、それも分別対象となるのか。

答 建築現場から出るものは産業廃棄物に区分される。今回の対象は事務所から出た家庭と同じような一般廃棄物のプラスチック製容器包装を考えている。事務所で飲食された際のゴミだけで、産業廃棄物とは扱い方が異なる。

陳情第7号については、閉会中に担当課及び陳情者を参考人として呼び出し、審査を行う必要があるとの意見があり、閉会中の継続審査となりました。

産業厚生常任委員会

委員長 西原 義文

総務教育常任委員会

委員長 遠目塚 文美

予算等審査特別委員会報告

5月臨時会及び6月定例会にて、付託された議案について審査を行いました。

審査の結果、議案第46号については反対の討論があり、挙手による採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決しました。議案第47号については、討論もなく全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。以下、審査内容の主なものを報告します。

①議案第46号 消費税及び地方消費税の税率引上げに伴う関係条例の整備について

消費税増税後の使用料・手数料の10円未満の切り捨てについて、全庁的な考えを求めするために、えびの市議会委員会条例第21条に基づき、総務課長と財政課長に説明のために出席を求めました。

▽使用料・手数料について

国等の債権債務等の金額の端数計算に関する法律に基づき1円未

満を切り捨てている。消費税に関しては、その規定が適用されないため、市民の負担や金銭のやり取り等を考慮し、10円未満を切り捨てた額としている。

反対討論要旨…社会保障の安定財源、福祉のためということ、消費税増税が行われてきた。しかし、市民は実感として福祉が良くなつたと感じていない。また、そういう声も出ない中で税率の引き上げには反対。

②議案第47号 令和元年度えびの市一般会計予算の補正(第3号)について

(1)老人ホーム運営事業費 4万9千円

問 指定管理者の公募はいつから始めるのか。何カ年の指定管理とするのか。

答 公募は9月を予定し、期間は3年間を予定している。

※老人ホーム運営については、3月定例会で民間譲渡のための選考委員会の予算が提案されていましたが、議会が時期尚早であるとのことで予算を減額修正。今回、現行の指定管理者制度による運営を行う選考委員会の予算が提案されたものです。

(2)放課後児童クラブ運営事業費 754万5千円

問 放課後児童支援員報酬は何名分か。

答 岡元小学校児童クラブ3名分(7月以降分)、飯野小学校児童クラブ2名分である。

(3)予防接種等事業費 513万3千円

問 風しん対策事業の対象者数は。

答 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男

性1,652名である。今年度の対象者は、昭和47年4月2日から昭和54年4月1日の間の682名のうち348名(受診率51.1%)と、対象者外でも自発的に受けられることを想定して、抗体検査の受診者を397名と想定している。予防接種に至るのは21.2%と試算している。

問 効果的に周知できるのか。

答 広報でと考えている。他の方法については、2市1町で協議が必要だと考えている。

予算等審査特別委員会

委員長 北園 一正

期待される企業立地



蔵園 晴美
議員



質問 産業団地造成計画がスタートした。本年度企業訪問目標は何社の予定か。また、情報発信をどのようにしたか。

企業立地課長 訪問は延べ120社予定。新規は50社目標。おもに福岡周辺、鳥栖、南九州が多い。

進出有力企業には電話で報告。新たな企業へ情報発信はできていない。パンフレットを作成し、用地買収作業や許認可手続きのめどがつき次第、立地活動ができるよう進めている。

質問 近年、災害発生により、多くの国民が犠牲になっている。県内では、南海トラフによる大きな災害が心配される中、市内の自治会、学校などでは避難訓練が

行われている。

自衛隊による災害救助の実態、防衛の在り方など、市内の学校で講話することにより、命の大事さや家族・故郷への想い（情操教育）が養われる。市・教育長の考えは、

教育長 初めての提案であり、把握できていない。学校には指導できるが指示はできない。今後の検討課題である。

市長 自衛隊と共存共栄で進めている。大変有意義と思う。



えびの市内で行われた自衛隊のパレード

営農振興に特化する担当課を新設せよ



中山 義彦
議員



質問 硫黄山対策と営農振興に対応できる担当課を新設せよ。

市長 硫黄山対応と営農振興については、現在の組織の中で横断的に各課で連携して進める。

質問 農地バンク法の改正により、農業委員会の役割も明確化された。関連組織が一体となった取り組みはどのようにするのか。

畜産農政課長 地域における農業の将来のあり方や、それに向けた中間管理事業の利用等に関する事項について協議する場を設け、農業委員会が提供する農地の利用状況や効率的な利用に資する情報等をもとに、担当課や関係機関が一体となって取り組んでいく。

質問 パーミス跡地における工場建設の協議について伺う。

市長 丸正も、公費を使っていることと、5年内に創業する契約であることは認識されており、早く方向性を示すよう要請している。

質問 畜ふん等の自然エネルギーを活用するバイオガス発電による売電収入で、新たな自主財源を創出し、市民サービスの向上を図つたらどうか。

市長 市が事業主体になる考えはないが民間事業はサポートする。



えびの市内の田園風景

児童の健全な育成支援の充実に



松窪 ミツエ
議員



と学校に紹介している。

質問 新規事業の吉都線サポート制度の開始時期と、JR九州との沿線環境整備作業の連携等については。

企画課長 地域住民との連携を図り、利用促進や沿線地域の活性化を目指すもので、7月に募集開始する。環境整備作業（ボランティア）軌道敷地内の草刈りは、安全確保のためJR九州と十分連携を図り、事業推進に協力する。

質問 放課後児童クラブの待機児童が4月の時点で24名いたが、対応できなかった理由は何か。

福祉事務所長 飯野小と加久藤小の児童クラブであったが、使用している教室の面積と有資格者の確保等で待機児童が発生している。

質問 今後の具体的な改善策は。

市長 スペースの確保、人材確保等を含め、委託事業所の努力と直営の事業拡大を考えている。

質問 中学生を対象に地域既存企業の訪問や、我が町の魅力を語る市長の教育講演企画を提案する。

教育長 職場体験は、小中学生時からえびのを大切に思う気持ちと、地域貢献を願う人材の育成に繋げている。市長講演は、2分の1成人式、立志式等で開催出来る



豊かな生活実現のために!!



吉留 優二
議員



が必要だと考えている。八幡ヶ丘公園を再整備する基本計画を策定するための経費も予算化したので、今後は整備計画を策定し公園整備事業を進めて行く。

質問 飯野地区開発として旧給食センター跡地の開発が必要だと考えるが見解を伺う。

市長 要望書も出ているので結論を出していきたい。

質問 進出企業にとって、行政の支援はもちろん、市民、議会が歓迎して受け入れる姿勢こそが重要であると考えます。経済発展、観光振興、人口減少解決策として、企業立地課と企業誘致促進の活動をしたいと考えています。見解を伺う。

市長 全ての職員に企業誘致に向けた情報提供をお願いしている。議員からも可能性のある進出企業の情報を頂ければ、積極的に動き、お願いをして行く。

質問 八幡丘公園は市民の憩いの場で、春愁の夜桜は圧巻である。えびの市観光振興の中核となる拠点として、大きな役割を果たすと考えるが見解を伺う。

市長 八幡丘公園は大きな改修



八幡丘展望台 / Hachimangaoka Hill Observation Deck

市民の憩いの場 八幡丘公園

一般質問

えびの中央線池島橋調査



栗下 政雄
議員



質問 平成19年頃から毎年、えびの市一般会計から、病院会計の方に繰出しているが、いつになったら、赤字が解消出来るのか。

市長 今年から新しい制度もスタートしており、これからも医師確保に努めていく。

質問 宮内水路問題については、えびの市、宮崎県を通じて九州農政局、農林水産省、また当時の農林水産大臣のところまで足を運んで現段階となった。工事用道路は管理用道路として利用出来ないか。
農林整備課長 今年度4月に管理用道路等については、県や市、地元にも説明している。尚、今年度は実施設計5000万円で水路設計、用地設計等を予定している。



長年整備が望まれているえびの中央線

質問 市道浜川原尾八重野線の改良計画はどのようになっているのか。

建設課長 本年度測量設計を行い、来年度工事を実施する。

質問 都市計画えびの中央線池島橋の計画はどのようになっていくのか。

建設課長 過疎地域自立促進計画に基づき、来年度路線調査する。

過疎対策事業による市道整備



北園 一正
議員



質問 新たな過疎対策事業の令和3年度以降の計画について伺う。

市長 は都市計画事業宮崎水俣線（加久藤橋等）の次は、えびの中央線池島工区（池島く中島間）と答弁されているが確認をする。

市長 えびの中央線は、過疎対策事業で来年度に調査を行う計画である。

質問 市道栗上下江線は歩道の整備中であるが、来年度以降の計画について伺う。

市長 来年度は、西上江地区から池島公民館までの約600mを測量予定である。

質問 市道池迫線は小林市の市道と接続する路線である。小林市側は補助事業により整備されているが、えびの市側は未整備で幅員

が狭く未舗装区間もある。養鶏農家等の通行に支障をきたしているので、過疎対策事業による整備を提案する。

建設課長 池迫線の小林市境の約100mは、未舗装で路面の凹凸があり補修する必要がある。



歩道が整備される池島地区

福祉行政の充実並びに
ジビエの取り組みについて



竹中 雪宏
議員



質問 障がい者支援の中で、「障がい者住宅改造等助成事業費補助金」、「市営住宅」、「福祉タクシー」の締結及び要綱の見直し、「市立病院でのジェネリック医薬品の取扱い」についてどのように対処するのか。

市長 障がい者住宅改造等助成事業費補助金は福祉政策の方で対応する。市営住宅は新たな施設の改修・建築となる時は、必ず障がい者を視点に入れて取り組む。福祉タクシーの締結は事業者の方へ認定の取得について考えを伺う。また要綱の見直しは、重度の障がいのある方について条例の見直しにより対応ができるように検討させる。ジェネリック医薬品は、可能な範囲において引き続き検討して

頂くよう要請をしていきたい。
質問 ヘルプマークの普及並びに啓発はどのように対処するか。
福祉事務所長 全戸に配布し、掲示してもらうようにする。

質問 ジビエ認証制度の活用により本市の活性化を図るためには、処理施設が必要だと考えるが。
市長 取り組みの必要性は強く感じているので、産業として活かすことはできないか考えてみる。



バリアフリー対応の市営住宅

早期の稲作再開を!!



田口 正英
議員



質問 現在行われている中和処理事業において、赤子川の水質改善がいつ頃までに通常の水質となり、上浦地区を始め下流域への取水が可能になるのか。
建設課長 現在、県の中和処理事業は10月までの目途を持って判断する。赤子川を水源とする地区の取水可能となる時期については、明確になっていない。

質問 県は来年春から実用化に向けた水質改善対策の運用を始めるとしているが、来季からは水系では取水可能にならないのか。
市長 現在、硫黄山の噴火量は以前と比べて少なく差がある。また、年間降雨量にも差があることから、これらの調査を9月まで行い、どのような目的を持ってプラ

ントを作るのか、県にもルール作りをお願いしている。
質問 当初から委員会等で提案しているが、えびの高原キャンプ村の川からパイプラインを引いて演習場内に農業用貯水池を作り、そこから岡元用水路に取水する案を県・国に示したのか。
農林整備課長 提案し県と協議しているが、開発行為等に制限があるため、今後も協議が必要である。



宮崎大学が実証試験を行っている中和処理事業

一般質問

健康寿命を延ばす努力を!!



金田 輝子
議員



質問 百歳体操を実施することで介護認定にも3年後は良い結果が出ると言われたが、どのような状況の変化があったのか。

介護保険課長 要介護者の増加はなく、特に65才以上の新規の介護認定者は減少している。

質問 サポーターの人達は一生懸命活動されている。体力的にも大変大きな負担がかかっており、行政としての課題や要望など把握されていることはないか。

介護保険課長 要望等は上がっているが、まずは全体の連絡会の中で協議して、自分達で解決していただきたい。

質問 本市の高齢化率は40.85%超えている現状である。予防策としては、運動と栄養と社会



参加が重要とされている。全面支援の介護から、今は自立支援型へと大きく変化してきた。年々筋力が低下してくる高齢者が機能回復訓練できる専用フィットネスを設置することで、支えるサポーターの高齢化問題も解消されると思うが考えを伺う。

市長 市内4ヶ所の会場にて、委託事業で実施していた。

えびの高原観光振興についで



小東 和文
議員



質問 道の駅えびのとえびの高原を結ぶ二次交通（路線バス）は必要と考える。宮崎交通と連携して、土・日・祝日だけでも数便バスの運行はできないか。

観光商工課長 重要な課題と認識している。採算の取れるだけの需要が必要で、えびの高原の集客は季節変動の影響も大きいので意向を宮交に聞いてみる必要がある。

質問 硫黄山の噴火の影響で一部通行止めとなっていた県道1号線について、県は通行再開に向けて噴気孔周辺を避けて、直線で約500mの道路を新たに整備するということが完成はいつか。

建設課長 工事発注後は工事現場の安全性を確保し、早期完成に努められると考える。

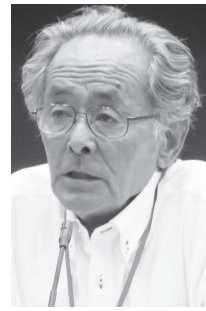


一部通行止めとなっている県道1号線

質問 道の駅と産業団地を関連付けて考えると道の駅に通じる道路も必要だ。高速道路下の通路を利活用し、現在予定している都市計画道路と合流させて道の駅に入るといふ構想も検討すべきだ。

市長 現時点では計画はないが、将来的に第2工区の話であったり、現在の産業団地の誘致を考えながら、今の提案は可能性がある部分であれば検討していきたい。

消費税増税を許すな



西原 政文
議員



質問 10月増税が予定される消費税は逆進性で、低所得者ほど重税感がある。市内の課税業者となった中小業者や農家は、消費税を転嫁できず身銭を切っているのが実態だ。どう考えるか。

市長 中小業者の実態は把握していないが、消費税が上がることで負担は増え、影響はあると考えている。全体的な影響を鑑みながら市政を進める必要がある。

質問 今年硫黄山被害で作付けができない所が多い。水の確保が必要だが、水源の調査と対策はどうするのか。来年は使えるようになるものか。えびの高原キャンプ場を流れる川や他の水源も調査し来年は水が使えるようにすべきだ。

農林整備課長 来年度の見込み

はない。作ヶ倉川は調査を行った。えびの高原キャンプ場からの水源は延長が13Kmで、維持管理は、地元負担となるので現実的でないと考えている。現在3つの水系に分けて調査対策を進めている。堂本水路は、水質悪化した時の自動開閉装置設置は終わった。PHと有害物質による電気伝導率が悪化した時、閉まるように設定してある。



堂本井堰に設置された自動開閉設備

子どもは地域の宝！



遠目塚 文美
議員



質問 滋賀県大津市での交通事故を受けて、その後えびの市内の保育園等への現状調査は。

福祉事務所長 園長会議にて確認し、改善要望を伺った。

質問 保育士に同行し、園長や市役所職員、警察等と散歩コースを歩き確認することを要望する。

市長 そのように指示をする。

質問 各学校の防犯対策は。

教育長 今年度は飯野小学校と岡元小学校にモデル的に防犯カメラを設置し実証した後、来年度市内全校への設置を検討する。

質問 小学校低学年の児童がトイレに行きやすくなるよう、壁の色を明るくしたり等、環境（雰囲気）を改修出来ないものか。

教育長 保護者会にも作業協力

をいただいでの改修を検討する。
質問 3歳児眼科健診において、機器を使用し、より専門性の高い健診となるよう取り組みないか。

市長 他の現状調査し検討する。

質問 特別支援教育研究会にて、保護者より要望のあった財産等の管理に関する内容のセミナーは実施出来ないものか。

教育長 まずは保護者の要望の有無を確認し、今後検討する。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



「誰一人取り残さない」を理念に2015年から2030年までの持続可能な開発目標とされているSDGs

◎ 委員会等視察報告 ◎

総務教育 常任委員会 管内調査報告

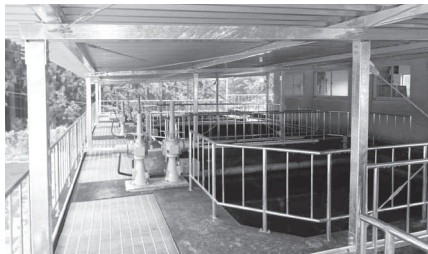
燃岳噴火による降灰対策

■日時・場所
平成31年4月24日(水)
山内浄水場・柿木原浄水場

■目的
浄水場視察(第2水源整備・新燃岳噴火による降灰対策)

現在えびの市上水場は、創設以降安定した給水を行っていますが、市役所から約20kmの山中にある川内川上流「又五郎谷」から表流水を取水し、急峻(きゅうしゅん)な林道内を経て柿木原浄水場へ送水されています。今回新たに、えびの市上水場の安定性・安全性・持続性を確保するため、現施設とは別系統の水源施設及び浄水施設を整備することになり、平成21年度の試験井ボーリング調査により「山内地区」に良好な深層地下水を確認し、山内水源施設整備事業として施設整備に取り組み、平成30年度に給水を開始しました。今後は応急給水など地震災害等の非常時の給水拠点としての活用も可能になりました。柿木原浄水場の過池については、第3次拡張工事により昭和54年に築造され、維持管理上屋根の無い構造物でした。平成23年に半世紀ぶりに噴火した新燃岳の降灰時には、風向きにより過池への灰の侵入は免れましたが、平成29年の噴火の際には、ろ過池まで降灰が到達する状況になったため、緊急に職員において仮設の屋根を設置しました。降灰によるろ過池の閉鎖が懸念されたため、平成30年度に屋根設置工事を実施しました。今後も安心・安全な水を提供出来るように、浄水施設の検証等を行っていきます。

総務教育常任委員会
委員 吉留 優二



新設されたる過池の屋根

総務教育 常任委員会 管内調査報告

包括ケア病床導入

■日時・場所
平成31年4月24日(水)
えびの市立病院

■目的
えびの市立病院駐車場の状況について

えびの市立病院駐車場改修については、障がい者専用の駐車場を設置するために、当初カーポートタイプで整備する計画でしたが、玄関前で降りできるような、屋根と玄関を拡張し玄関横の花壇も撤去され、一方通行になるようロータリー形式に整備しました。また、玄関拡張の際に支柱に鉄筋を入れ補強しました。地域包括ケア病床については、一般病床で急性期治療を終え、病状が安定した患者が住み慣れた地域に戻れるよう支援する病床で、今年度より8床導入されています。入院できる日数は最長で60日が原則で、その間に疾病や身体的な状態、住居環境や介護者の状況などに応じて在宅や介護施設などへの退院支援を行います。また退院後の生活への不安や問題が軽減・解決できるよう、医師や看護師、リハビリスタッフ、ソーシャルワーカー等が協力しサポートを行う体制となっています。地域包括ケア病床を導入することで、医療収益の増加が見込まれますが、様々な課題も多く、委員会としても、引き続き調査等を行い、高齢化社会を見据えた病院の在り方について検討していく必要があると考えます。

総務教育常任委員会
委員 小宮 寧子



玄関を拡張し、整備された駐車場

小林・えびの 間道路改良 促進期成 同盟会

■日時
令和元年5月27日(月)

■目的
小林・えびの間道路改良の現状把握

■内容
現地踏査は、国道221号線と県道4ヶ所の計5ヶ所について、小林土木事務所の説明を受けました。現地視察後、現場での参加者からの意見・質問等を踏まえて小林市役所にて総会が開催されました。

高橋小林土木事務所長の挨拶の中で、期成同盟会所管の道路350kmのうち、270kmが改良済であるとの説明があり、平成30年度事業報告及び決算報告と令和元年度事業計画案・予算案・役員改選について審議しました。会員から県道京町小林線の上江交差点改良に関する現地調査の要望があり、小林土木事務所で調査することになりました。なお、上程議案は全て承認され、令和元年度の関連事業としては、国道1ヶ所、県道3ヶ所の計4ヶ所の道路改良を行うこととなりました。

産業厚生常任委員会

委員 中山 義彦



県道改良工事の施工状況

◎ 委員会等視察報告 ◎



えびの市内の重要な観光施設

産業厚生常任委員会

委員 金田 輝子

■調査内容
矢岳高原ベルトンオートキャンプ場は、今年トライアルバイク全国大会の会場となり、近年利用者数が増加傾向となっています。平成13年の開設から18年が経過し施設の老朽化が進み、早急に外壁の塗替えや破損箇所の改修工事が必要と思われます。施設利用者から11月までの営業延長の要望があり、委員からWiFi設置等の提案をしています。

白鳥温泉上湯は、源泉の作湯槽及び大浴場のシロアリ被害が深刻化しており、早急な改修工事が必要です。また下湯は、源泉から一本の配管で繋がっており漏水があった際、点検や修理に支障があるため、切替えバルブ等を増設し営業に支障をきたさない対策が必要です。また宿泊者から施設近辺のトイレ改修の要望が上がっているそうです。なお、新たな管理者になって対応が良くなったとの利用者の感想があり、さらに、来客サービス向上を図る運営を進めていくよう提案していきます。

産業厚生 常任委員会

管内調査報告

日時・場所

令和元年5月24日(金)

矢岳高原 白鳥温泉

目的

観光施設の状況

産業厚生 常任委員会

管内調査報告

日時・場所

令和元年5月24日(金)

足湯の駅えびの高原・りんどう

目的

運営状況について

■内容
平成31年4月に足湯の駅えびの高原及びりんどうが、宮交グループからえびの市に無償譲渡されました。今後は両施設ともえびの市で管理することになりました。

りんどうについては、これまでテナントとして利用されてきた事業者が、えびの市から借用して利用することになりました。

足湯の駅えびの高原については、一階部分はえびのガイドクラブが管理し、二階については今後検討することです。

両施設とも老朽化が進み改修が必要などころがあったので、補修費を6月議会で予算化しました。足湯は利用希望者が多く、湯温が低い夏場だけでも利用できるように保健所に申請しています。

産業厚生常任委員会

委員 西原 政文



再建が望まれる足湯の駅えびの高原

産業厚生 常任委員会

管内調査報告

日時・場所

令和元年5月24日(金)

えびの高原

目的

宮崎大学の中和処理施設の現地調査

■調査内容
硫黄山噴火による白濁対策として、国土交通省により、無人重機でえびの高原からくに荘跡地に掘られた沈殿池横に、石灰石を100トン敷き詰めた試験的に浄化施設が作られています。

浄化施設を通過することによってPHの調整と金属などの除去ができるか否かを、現在宮崎大学が研究中であるとの説明でした。今年10月頃までに結果がわかるとのことです。この結果を受けて、本格的な実用化に向けての施設の建設が計画されます。なお、石灰石は水に溶けるため、処分は必要ないが補充が必要であるとのことでした。

産業厚生常任委員会

委員 西原 政文



えびの高原にある中和処理施設

主要農作物種子法復活を求める意見書

主要農作物種子法は、戦後の食糧増産という国家的要請を背景に、国・都道府県が主導して優良な種子の生産・普及を進める必要があるとの観点から、昭和27年5月1日に制定された。

種子法により、稲・麦・大豆の種子を対象に優良品種の指定、原種・原原種の生産、種子生産ほ場の指定及び種子の審査制度等を規制してきたため、地域に適した品種が開発され、農業者には優良な種子が消費者には安全で安心な食糧が安定的に供給されてきた。

種子法廃止により、種子価格の値上がりや都道府県の農業試験場で長年研究されてきた地域に適した品種の多様性が失われる可能性、また事業者の独占や改良された新品種に特許がかけられることなどが危惧され、農業者や消費者にとっても影響が大きいと考えられる。

一つの品種を開発するのに約10年、品種の増殖には4年かかると言われており、種子の生産は手間と時間、そして多額のコストがかかる。

よって、国及び政府においては、農業者の不安解消と安全で安心な農作物を消費者に供給するために、主要農作物種子法を復活させることを強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年6月24日

宮崎県えびの市議会

種子法とは…？

稲・麦・大豆の新しい種子^{たね}は、国の定めた機関等でしか交配出来ないように決められているもの。

新たな過疎対策法の制定に関する意見書

過疎対策については、昭和45年に「過疎地域対策緊急措置法」制定以来、4次にわたる特別措置法の制定により、総合的な過疎対策事業が実施され、過疎地域における生活環境の整備や産業の振興など一定の成果を上げたところである。

しかしながら、依然として多くの集落が消滅の危機に瀕し、また、森林管理の放置による森林の荒廃や度重なる豪雨・地震等の発生による林地崩壊、河川の氾濫など、極めて深刻な状況に直面している。

過疎地域は、我が国の国土の過半を占め、豊かな自然や歴史・文化を有するふるさとの地域であり、都市に対する食料・水・エネルギーの供給、国土・自然環境の保全、いやしの場の提供、災害の防止、森林による地球温暖化の防止などに多大な貢献をしている。

過疎地域が果たしているこのような多面的・公益的機能は国民共有の財産であり、それは過疎地域の住民によって支えられてきたものである。

現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は令和3年3月末をもって失効することとなるが、過疎地域が果たしている多面的・公共的機能を今後も維持していくためには、引き続き、過疎地域に対して総合的かつ積極的な支援を充実・強化し、住民の暮らしを支えていく政策を確立・推進することが重要である。

過疎地域が、そこに住み続ける住民にとって安心・安全に暮らせる地域として健全に維持されることは、同時に、都市をも含めた国民全体の安心・安全な生活に寄与するものであることから、引き続き総合的な過疎対策を充実強化させることが必要である。よって、新たな過疎対策法の制定を強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年6月24日

宮崎県えびの市議会

みんなで語っみろ会!



(えびの市議会と「市民との意見交換会」)

～令和元年度～

市内4地区で開催いたします。

共通テーマについての意見交換、自由な意見交換の時間を設けています。

ぜひこの機会に市民の皆様の多様なご意見をお聞かせください。

◆意見交換会の内容（午後7時から午後8時30分まで）

1. 議会報告 本年度予算での重要施策、産業団地整備事業、常任委員会の活動状況を報告

2. 上記の質疑応答

3. 意見交換

●共通テーマ 「老人ホーム真幸園の民間譲渡」及び「文化センターの直営」について

●自由な意見交換

◆開催日時と会場

8月2日(金) 午後7時開会	加久藤中学校区	市役所本庁舎 1の1会議室
	真幸中学校区	真幸地区コミュニティセンター
8月5日(月) 午後7時開会	上江中学校区	上江地区コミュニティセンター
	飯野中学校区	飯野地区コミュニティセンター
8月9日(金) 午後7時00分	※台風等で上記開催を中止した場合 市文化センター	

※荒天により意見交換会を中止する場合には、市ホームページ及び広報車で事前にお知らせいたします。

議員別表決

「表決が割れた」議案等とその議員別表決

議案等賛否一覧表（※賛否が割れたもののみを掲載しています。）

議案番号	議員名 件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	採決結果
		上原	小宮	吉留	金田	中山	遠目塚	小東	田口	松窪	北園	竹中	西原(義)	西原(政)	蔵園	栗下	
5月臨時議会	報告第5号	専決処分したえびの市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の承認について	/	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	原案承認
	議案第37号	えびの市課設置条例の一部改正について	/	○	○	●	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第38号	令和元年度えびの市産業団地整備事業特別会計予算の補正(第1号)について	/	○	○	●	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	原案可決
6月定例会	議案第46号	消費税及び地方消費税の税率引上げに伴う関係条例の整備について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第52号	財産の取得について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第53号	工事請負契約の締結について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第54号	工事請負契約の締結について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第55号	工事請負契約の締結について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第56号	工事請負契約の締結について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

○：議案等に対して賛成 ●：議案等に対して反対 欠：欠席 -：棄権 /：議長は採決に加わりません

議会日誌

- 〔平成31年3月〕
- 20日 全員協議会
- 23日 道の駅えびのリニューアルオープン式
- 24日 加久藤橋開通式
- 25日 市内小学校卒業式
- 26日 議会運営委員会
- 27日 議会広報特別委員会
- 〔平成31年4月〕
- 3日 議会広報特別委員会
- 5日 えびの市春の地域安全・交通安全運動決起集会
- 6日 えびの市消防団平成31年度入退団式
- 8日 議会広報特別委員会
- 9日 市内中学校入学式
- 10日 市内小学校、上江小中学校入学式
- 12日 日章園九州国際高等学校入学式・留学生入校式
- 16日 議会報告公聴特別委員会
- 24日 総務教育常任委員会【管内調査】
- 25日 全員協議会
- 〔令和元年5月〕
- 10日 議会運営委員会
- 15日 5月臨時議会【開会】
- 16日 5月臨時議会【閉会】
- 17日 議会報告公聴特別委員会
- 19日 京町温泉マラソン大会
- 24日 産業厚生常任委員会【管内調査】
- 27日 小林・えびの間道路改良促進期成同盟会現地踏査 総会
- 31日 西諸広域行政事務組合議会臨時議会
- 〔令和元年6月〕
- 3日 議会運営委員会
- 6日 6月定例会【開会】

編集後記

令和の新たな時代の始まりと共に、えびの市においても新たな時代が始まるうとしています。3期・11年もの間、えびの市の教育行政に多大な尽力を賜った萩原教育長が7月3日の任期満了をもって退任されました。在任中は、えびの学（地域学習）や30人学級等、えびの市独自の教育を県内他市町村に先駆けて積極的に導入し、また幼保・小連携や小・中・高連携等では子どもだけでなく教職員同士の交流等も推進され、飯野高校存続にも力を注いで下さいました。心からの感謝の意を贈り、新たに就任される永山教育長と共に、今後とも良きえびの市の教育環境を継承・構築してまいります。

議会広報特別委員会
副委員長 遠目塚 文美

